

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 7 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過	検査結果 陽性 (7日判明)
36	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	46頭 (繁殖和牛25頭 育成2頭 子牛19頭)	18例目の 農場から 西約300m	・5月6日、農場主から宮崎県に対し、食欲低下等を確認したと届出 ・同日立ち入り、2頭に舌のびらん、鼻腔内の水疱破裂跡等を確認 ・6日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
37	児湯郡川南町	養豚	5,032頭 (繁殖1,043頭 種雄豚3頭 肥育豚3,024頭 子豚962頭)	30例目の 農場から 北東約 1.4km	・5月6日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚1頭の蹄の出血、鼻の水疱を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に鼻の水疱、蹄のびらん等を確認 ・6日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
38	児湯郡川南町	養豚	6,406頭 (繁殖541頭 種雄豚13頭 肥育豚2,857頭 子豚2,995頭)	29例目の 農場から 東約500m	・5月6日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚1頭で脚の出血、乳房の水疱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に発熱、鼻鏡や乳頭の水疱、蹄のびらん等を確認 ・6日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
39	児湯郡川南町	養豚	1,906頭 (子豚1,906頭)	25例目の 農場から 南西約500m	・5月6日、農場主から宮崎県に対し、5頭の豚に跛行等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に蹄の水疱を確認 ・6日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
40	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	18頭 (繁殖牛11頭 子牛7頭)	12例目の 農場から 南東約150m	・5月6日、獣医師から宮崎県に対し、2頭の牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、5頭にびらん、水疱等を確認 ・7日、検体を動物衛生研究所へ送付	5頭
41	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	67頭 (繁殖牛35頭 育成牛5頭 子牛27頭)	27例目の 農場から 北東約200m	・5月6日、農場主から宮崎県に対し、2頭の牛に発熱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・7日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
42	児湯郡川南町	養豚	640頭 (肥育豚640頭)	33例目の 農場から 西約600m	・5月6日、農場主から宮崎県に対し、1頭の豚の脚に皮膚の剥離等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に発熱、鼻および蹄のびらんを確認 ・7日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
43	児湯郡川南町	酪農・肉用牛 複合	97頭 (搾乳牛53頭 乳用育成牛25頭 肉用育成牛9頭 肉用子牛10頭)	11例目の 農場から 南東約200m	・5月6日、獣医師から宮崎県に対し、1頭の肥育牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に流涎、鼻腔および舌のびらん等を確認 ・7日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭